

特別賞

ブライダル市場確立に貢献して50年を迎えた デザイナーの桂由美さん

かつら・ゆみ 東京生まれ。共立女子大学卒業後、パリへ留学。1964年、日本初のブライダル・ファッション・デザイナーとして活動開始。以降50年、世界22カ国でショーを行い、「ブライダルの伝道師」とも呼ばれている。93年「外務大臣表彰」、96年、中国より「新時代婚礼服飾文化賞」を受賞。99年、東洋人初のイタリアフッシャオン協会正会員となりローマ・コレクションに参加。03年からはパリでコレクションを開催している。10年、全米ブライダルコンサルタント協会より世界に4人のみの称号である名誉会員に。13年、アジア・クチュール協会の創立メンバーに選出された。



昨年発足したアジア・クチュール協会の創立メンバーとして選ばれるなど、世界を舞台に活躍している。5月31日から、桂さんの活動を記録した映画「桂由美・マザー・オブ・ザ・ブライド」も上映される。

64年に日本初のブライダル専門店をオープンし、今年で活動開始50周年を迎えた日本を代表するブライダル・ファッション・デザイナー。「ユミライン」と呼ばれる女性を美しく見せる洋装ドレスのデザイナーとして知られるが、日本の伝統文化・技術への造詣も深く、ドレスに日本の伝統素材や技法を取り入れたり、友禅をモダンにこなした新しいラインの開発にも力を入れている。

非婚化・少子化に歯止めをかけようと、地域ぐるみでカップルを祝福する「ふるさとウエディング」の提唱、「恋人の聖地」制定、「プロポーズの言葉コンテスト」なども行っている。東日本大震災が起こった年の夏には、結婚式を挙げられなかった被災4県のカップルに市民結婚式をプレゼントした。